



第105期 事業のご報告

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

エスビー食品株式会社



平素は格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

ここに当社第105期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）の事業の概況と決算のご報告を申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移したものの、中国経済の減速懸念や米国の今後の政策動向などによる海外経済の不確実性の高まりなど、先行きについては不透明な状況となりました。

食品業界におきましては、将来への不安を背景としたお客様の節約志向などにより、個人消費は底固くも力強さに欠ける状況のなか、消費行動の多様化や市場構造の変化への対応が求められるなど、厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなかで、当社および連結子会社（以下「当社グループ」といいます。）は、企業理念・ビジョンのもと、中期経営計画に基づき、スパイスとハーブを核とした事業活動を推進してまいりました。

おいしさの追求はもちろんのこと、高い品質と新たな価値を創出し、暮らしに役立つ製品を生み出すため、お客様視点での研究開発や製品開発を行うとともに、きめ細かな営業活動やスパイスとハーブの魅力をお伝えするための情報発信に取り組んでまいりました。また、製造部門における原価低減や、全社的な経費管理の徹底により収益力の強化を図るとともに、設備投資などによる生産性向上や品質保証体制の強化に継続して取り組んでまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は前期比44億89

百万円増の1,423億96百万円（前期比3.3%増）となりました。利益面につきましては、食料品事業の売上高が増加したこと、また食料品事業、調理済食品ともに引き続き原価低減に努めたことなどから、営業利益は前期比10億25百万円増の63億89百万円（同19.1%増）、経常利益は前期比10億66百万円増の61億89百万円（同20.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比11億40百万円増の38億86百万円（同41.6%増）となりました。

なお、当連結会計年度における設備投資は、上田・東松山・宮城の当社3工場を中心とした製品の安全・安心対策、品質および生産性向上を目的とした生産設備の更新・改良などにより、総額39億14百万円の投資を行いました。

食料品事業においては、当社上田工場・宮城工場の生産設備更新を中心に32億98百万円、また、調理済食品においては、株式会社ヒガシヤデリカの生産設備更新・改良により6億15百万円の設備投資を行いました。

また、当連結会計年度中に、増資あるいは社債発行による資金調達はありません。

今後の経済環境につきましては、国内景気は緩やかな回復が期待されるものの、海外経済の不確実性の高まりなどによる影響も懸念されるため不透明な状況が続くものと予想されます。

食品業界におきましては、原材料価格や為替の動向が業績に影響を及ぼす可能性があるなかで、ライフスタイルの変化などによるお客様の要望の多様化や、安全・安心に対する取組みがより強く求められるものと思われます。

このような情勢のもと、当社グループといたしまして

は、スパイスとハーブを核とした事業活動を展開するなかで、お客様視点での製品施策や、これを実現するための生産体制の整備を進めるとともに、営業部門と広告部門が一体となったマーケティング活動を実施することで、売上高と利益の拡大を目指してまいります。

また、企業の持続的成長に向けて、継続して組織力の強化を図るとともに、重要な経営戦略のひとつと位置付けている「ダイバーシティ・マネジメント」につきましては、ワークスタイル変革の推進などにより、多様な人材が主体性を持って活躍できる環境整備に取り組んでまいります。また、企業の社会的責任に関しましては、安全・安心に対する取組みを継続して強化するとともに、社会や環境に配慮した活動を推進してまいります。

コーポレート・ガバナンスにつきましては、執行役員制度のもと、取締役と執行役員の役割を明確にすることで、経営全般のスピードアップを図り、経営環境の変化に迅速かつ的確に対応いたします。また、取締役会の実効性を高めるための取組みを進めるとともに、当社グループ全体の内部統制を高めてまいります。

なお、平成29年5月12日に公表いたしました中期経営計画について、基本方針と重点施策に変更はありませんが、最近の業績の動向等を踏まえ、目標値を以下の通り修正しております。

<平成32年3月期の目標値>

	修正前	修正後
売上高	1,460億円	1,470億円
営業利益	59億円	68億円
売上高営業利益率	4.0 %	4.6 %

当社グループの強みをさらに伸ばし、新たな市場の開拓を進め、ブランド価値を高めていくなかで、さらなる企業価値の向上に努めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年6月



代表取締役社長

小形 博行

食料品事業

売上高 1,243億85百万円
前期比 3.6%増

● スパイス&ハーブ

売上高259億2百万円(前期比13億70百万円増)

ラインナップが豊富な「SPICE & HERB」シリーズをはじめとする洋風スパイスや業務用香辛料製品が伸長いたしますとともに、シーズニングスパイスも順調に推移いたしました。また、唐辛子、コショウも堅調に推移いたしました。



● 即 席

売上高351億26百万円(前期比4億75百万円増)

主力ブランドの「ゴールデンカレー」が、季節限定製品の販売などにより大幅に伸長いたしました。また、「ゴールデンハヤシ」やリニューアルした「濃いシチュー」が順調に推移いたしますとともに、本年2月発売の「とろっとワンプレート」シリーズも寄与いたしました。



● 香辛調味料

売上高334億35百万円(前期比10億81百万円増)

チューブ製品は、お徳用タイプが大幅に伸長いたしますとともに、本年3月発売の「きざみ青じそ」も寄与いたしました。また、中華調味料の「李錦記」ブランド製品は、「コチュジャン」や「豆板醤」などの基礎調味料が順調に推移いたしました。



● インスタント食品その他

売上高 299億21百万円
(前期比14億30百万円増)

レトルト製品は、「ホテル・シェフ」シリーズが順調に推移いたしますとともに、昨年8月発売の「濃厚好きのごちそう」シリーズも寄与いたしました。また、「ボンヌママン」ブランド製品も順調に推移いたしました。



調理済食品

売上高 180億10百万円
前期比 0.7%増

調理麺などが堅調に推移いたしましたことから、前期実績を上回りました。

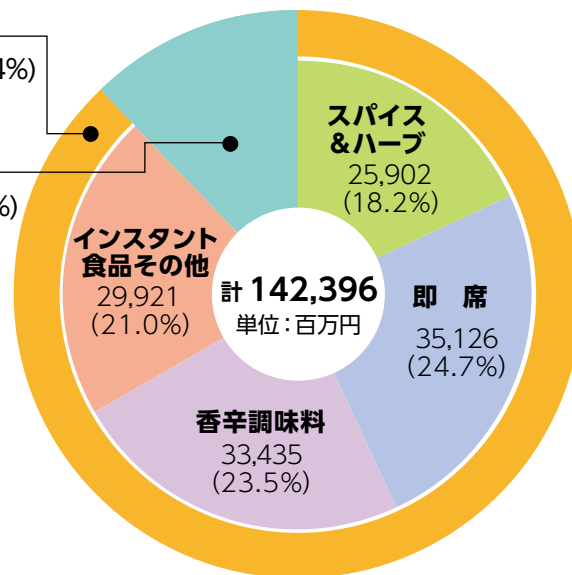
連結売上高構成比

食料品事業

124,385(87.4%)

調理済食品

18,010(12.6%)



ハラール認証製品への取組み

当社は、訪日外国人観光客の増加に伴う多様なニーズに対応するため、昨年5月に、インドのハラール認証工場にて製造した、業務用セレクトスパイス「インド産ブラックペッパー」2種類を、本年4月には、業務用「ハラール認証小袋ねりわさび」を発売しました。

また、本年4月には、幅広いインバウンド市場を対象とした「第5回ハラールマーケットフェア」に出展し、当社のハラール認証製品について、特徴とその価値を訴求しました。

「第5回ハラールマーケットフェア」においては、業務用「ハラール認証 小袋ねりわさび」が、日本の代表的な薬味を広く提案できる新製品である点や、ムスリムの方々に対応した製品としての新たな取組みである点が評価され「第1回ハラールフードアワード」加工食品・菓子部門の優秀賞を受賞しました。

今後も、ハラール認証製品やムスリムの方々への適切な情報開示による製品の提案を実施し、更なるインバウンド市場の拡大に対応していきます。



時短ニーズに対応した「とろっとワンプレート」シリーズ新発売

当社は、社会環境・食環境の変化に対応する新しい煮込みメニューシリーズとして、「とろっとワンプレート チーズィーチキン・ハッシュドポーク」を新発売しました。

共働き世帯の増加などにより「時短ニーズ」が強く存在するなかで、家庭内使用率の高い鶏肉・豚肉を使用し、煮込み時間15分という短時間で完成する、新しいタイプの煮込みメニュー用ルウです。ごはんとの相性にこだわったワンプレートスタイルは、見た目の楽しさのほか、洗い物削減にもつながるなど、新しい食シーンを創造します。

また、「新カゾクライス」をキャッチコピーとして、TVCMやブランドサイトなどによる訴求、SNSの活用などさまざまな施策を行いました。

今後も、社会環境とともに変化する調理ニーズに対応した提案を通じ、新たな市場の創造を図っていきます。



※「とろっとワンプレート」に関する情報は、
当社ホームページをご覧ください。
(<https://www.sbfoods.co.jp/torotto/index.html>)



フレッシュハーブ事業30周年

日本人の食のニーズが多様化する時代に、生のハーブのおいしさや香りをお届けするため、1987年に開始したフレッシュハーブ事業が、昨年30周年を迎えました。

発売当初はスイートバジル、パースレー（注）、セージ、ディル、タイムの5品目でしたが、現在では60品目を超え、一年を通じて新鮮なハーブを楽しんでいただけるよう、北海道から沖縄まで多くの契約栽培農家と連携し、安全な商品を安定的に出荷できる体制づくりを構築しています。

（注）現在は、イタリアンパセリの商品名で販売しています。

また、30周年を記念して、「8(ハー) 2(ブ)」の語呂合わせから、8月2日を「ハーブの日」と定め、一般社団法人 日本記念日協会に登録しました。初年度となる昨年は、日本経済新聞の全面広告を初めとし、店頭販促、フレッシュハーブのサンプリング等を実施し、「ハーブの日」の浸透を図っています。

これからも、企業理念「食卓に、自然としあわせを。」のもと、自然の恵みであるハーブの可能性を追求し、ハーブのおいしさや素晴らしさを多くのお客様にお届けしていきます。

※フレッシュハーブに関する情報は

当社ホームページでご覧いただけます。

(<https://www.sbfoods.co.jp/freshherb/>)



国立大学法人筑波大学と産学共同研究を開始

当社は、スパイスとハーブがもつ健康機能性を科学的に解明することを目的として、昨年9月より筑波大学と、共同研究を開始しました。

筑波大学は、地中海・北アフリカ研究センターが中心的に推進する「地中海食薬資源研究」において、900種を超える食薬資源の伝承薬効情報、生理活性成分、健康機能性に関する研究成果とノウハウを蓄積し、民間企業との科学的エビデンスに基づく事業連携も積極的に進めています。

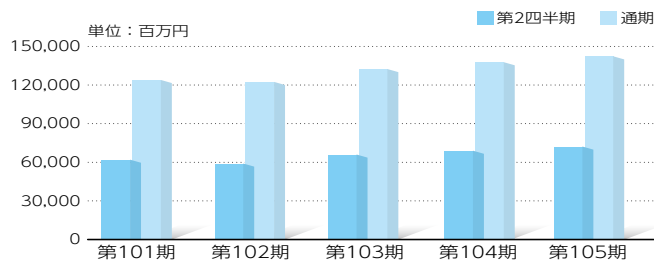
また、当社の事業の核であるスパイスとハーブは、古くから人間の生活に欠かせない活力源や生薬として重宝されてきました。

ビジョン『「地の恵み スパイス&ハーブ」の可能性を追求し、おいしく、健やかで、明るい未来をカタチにします。』の実現に向け、おいしさだけでなく、人々の健やかな暮らしを支える機能の研究開発を進めていきます。

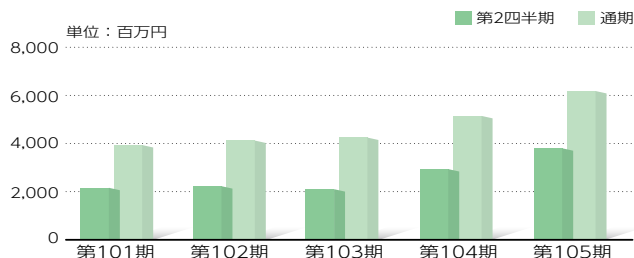


業績の推移(連結)

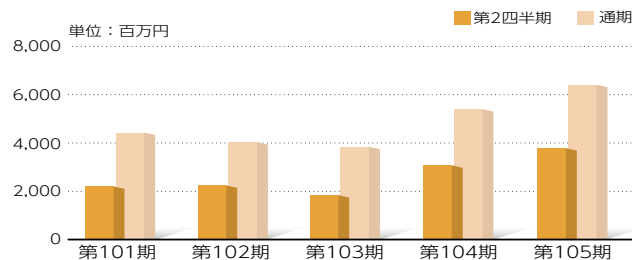
売上高



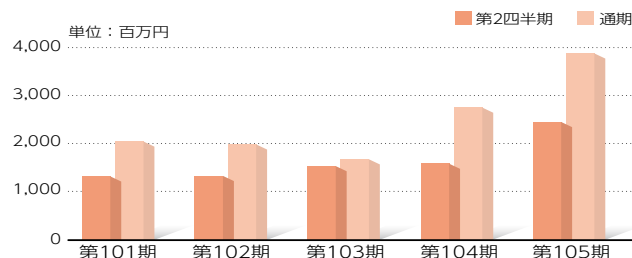
経常利益



営業利益



当期純利益



区 分	第101期 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)	第102期 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)	第103期 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)	第104期 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)	第105期 (平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで)
売上高 (百万円)	123,976	121,866	133,147	137,907	142,396
営業利益 (百万円)	4,421	4,030	3,820	5,364	6,389
経常利益 (百万円)	3,919	4,126	4,244	5,122	6,189
当期純利益 (百万円)	2,054	1,992	1,670	2,745	3,886
1株当たり当期純利益 (円)	295.86	289.66	249.35	422.97	611.96
純資産 (百万円)	31,484	33,548	34,703	36,667	40,272
総資産 (百万円)	100,541	102,903	104,799	104,763	103,045

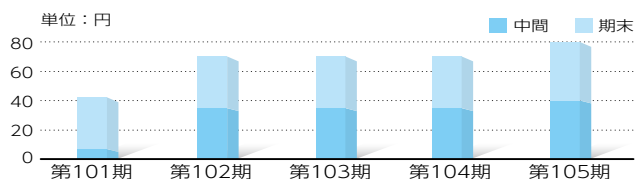
(注) 平成25年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。第101期の1株当たり当期純利益は、第101期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

配当について

当社は、今後の事業展開に備え長期にわたる堅実な経営基盤の確保に努めるとともに、株主の皆様への利益還元としては、安定的な配当の維持を基本方針としています。第105期の年間配当金は1株当たり80円となりました。

(注) 平成25年10月1日付けで5株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。

1株当たり年間配当金



連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成29年3月31日現在)	当連結会計年度 (平成30年3月31日現在)
[資産の部]		
流動資産	58,383	58,404
固定資産	46,379	44,640
有形固定資産	30,086	30,587
無形固定資産	608	691
投資その他の資産	15,684	13,362
資産合計	104,763	103,045
[負債の部]		
流動負債	46,976	45,536
固定負債	21,119	17,236
負債合計	68,095	62,773
[純資産の部]		
株主資本	33,591	37,015
資本金	1,744	1,744
資本剰余金	5,337	5,337
利益剰余金	29,433	32,862
自己株式	△2,923	△2,929
その他の包括利益累計額	3,076	3,257
その他有価証券評価差額金	2,406	2,716
土地再評価差額金	890	867
為替換算調整勘定	20	△11
退職給付に係る調整累計額	△240	△314
純資産合計	36,667	40,272
負債純資産合計	104,763	103,045

連結損益計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで)
売上高	137,907	142,396
売上原価	81,700	82,508
売上総利益	56,206	59,888
販売費及び一般管理費	50,842	53,498
営業利益	5,364	6,389
営業外収益	446	434
営業外費用	687	635
経常利益	5,122	6,189
特別利益	42	192
特別損失	749	216
税金等調整前当期純利益	4,416	6,164
法人税、住民税及び事業税	1,699	2,207
法人税等調整額	△28	70
当期純利益	2,745	3,886
親会社株主に帰属する当期純利益	2,745	3,886

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,550	3,111
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,555	3,637
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,454	△6,299
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△36
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	539	413
現金及び現金同等物の期首残高	16,729	17,269
現金及び現金同等物の期末残高	17,269	17,682

※財務諸表の記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要 (平成30年3月31日現在)

- 商 号 エスピー食品株式会社
- 本 社 所 在 地 東京都中央区日本橋兜町18番6号
- 設 立 年 月 日 昭和15年4月5日(創業大正12年)
- 資 本 金 1,744百万円
- 従 業 員 数 1,322名
- 主要な事業内容 スパイス&ハーブ(カレー粉、コショウ、洋風スパイスなど)、即席(ゴールデンカレー、フォン・ド・ボー ディナーカレー、とろけるカレー、濃いシチューなど)、香辛調味料(本生 本わさび、おろし生しょうが、中華など)、インスタント食品その他(おでんの素、レトルトカレー、パスタソースなど)の製造販売

株式の状況 (平成30年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 17,600,000株
- 発行済株式の総数 6,977,117株
- 単 元 株 式 数 100株
- 株 主 数 5,941名
- 大 株 主

株 主 名	持株数	持株比率
峯 栄 興 業 株 式 会 社	609千株	9.59 %
山 崎 兄 弟 会 社	600	9.45
株式会社三菱東京UFJ銀行	314	4.94
農 林 中 央 金 庫	314	4.94
株式会社東京都民銀行	244	3.85
セコム損害保険株式会社	176	2.77
大日本印刷株式会社	172	2.71
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託)	168	2.66
日本生命保険相互会社	162	2.57
第一生命保険株式会社	124	1.96

(注) 自己株式 626 千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

役 員 (平成30年6月28日現在)

- | | | | |
|-------------|---------|-------------|---------|
| 代表取締役社長 | 小 形 博 行 | 監査役(常勤) | 寺 尾 隆一郎 |
| 代 表 取 締 役 | 荻 原 敏 明 | 社 外 監 査 役 | 葛 山 康 典 |
| 専 務 取 締 役 | 丹 野 好 生 | 社 外 監 査 役 | 松 家 元 行 |
| 常 務 取 締 役 | 島 田 和 典 | 社 外 監 査 役 | 鵜 高 利 行 |
| 常 務 取 締 役 | 池 村 和 也 | 上 席 執 行 役 員 | 谷 脇 一 知 |
| 常 務 執 行 役 員 | 山 崎 明 裕 | 上 席 執 行 役 員 | 小 林 千 尋 |
| 取 締 役 | 田 口 裕 司 | 上 席 執 行 役 員 | 小 野 俊 幸 |
| 取 締 役 | 谷 修 子 | 執 行 役 員 | 大 矢 肇 |
| 社 外 取 締 役 | 広 瀬 晴 子 | 執 行 役 員 | 小 島 和 彦 |
| | | 執 行 役 員 | 鎌 田 典 明 |
| | | 執 行 役 員 | 土 居 永 二 |
| | | 執 行 役 員 | 弓 部 重 明 |
| | | 執 行 役 員 | 佐 竹 良 昭 |
| | | 執 行 役 員 | 成 沢 智 仁 |
| | | 執 行 役 員 | 西 邨 正 敏 |

主な事業所 (平成30年6月28日現在)

● 事務所および工場

名 称	所 在 地	名 称	所 在 地
本 社	東 京 都	上 田 工 場	長 野 県
八丁堀ハーブテラス	東 京 都	東 松 山 工 場	埼 玉 県
板橋スパイスセンター	東 京 都	宮 城 工 場	宮 城 県

● 営業所

支 店 名	営 業 所 名	所 在 地	支 店 名	営 業 所 名	所 在 地
北 海 道	札 幌	北 海 道	中 部	静 岡	静 岡 県
東 北	北 東 北	岩 手 県		中部第1・第2	愛 知 県
	南 東 北	宮 城 県		北 陸	石 川 県
東 京	東 部	千 葉 県	関 西	関西第1・第2・第3	大 阪 府
	中 央	東 京 都	中 四 国	中 国 第 1	広 島 県
	西 部	東 京 都		中 国 第 2	岡 山 県
	神 奈 川	神 奈 川 県	四 国	香 川 国	香 川 県
関東・信越	関 東	埼 玉 県	九 州	九州第1・第2	福 岡 県
	新 潟	新 潟 県		鹿 児 島	鹿 児 島 県
	長 野	長 野 県		沖 縄	沖 縄 県

とうもろこしとカジキのカレー

フライパンで作ろう、ごちそうカレー！旬のとうもろこしをたっぷりを使い、甘みと食感を楽しもう♪



調理時間 20分

1食分あたり 640kcal

食塩相当量 2.8g

材料(5人分)

とうもろこし	2本(粒:200g)
【カジキまぐろのソテー】	
かじき	300g(2-3切れ)
塩	少々
S&Bホワイトペッパー(パウダー)	少々
S&Bカレー粉	小さじ1
サラダ油	大さじ1
玉ねぎ	1個(200g)
セロリ	80g
パプリカ(赤)	100g
サラダ油	大さじ1
水	650ml
S&Bゴールデンカレー	1/2箱(99g)
白飯	適量
枝豆(ゆで)	適宜

レシピに関しては、
以下の当社WEBサイトでご覧いただけます。
<https://www.sbfoods.co.jp/recipe/>



作り方

- 【1】とうもろこしは包丁で粒をそぎ落とし、耐熱皿に入れてラップをかけ、電子レンジ600Wで3分加熱します。
- 【2】玉ねぎ、セロリ、パプリカは1cm角に切ります。
- 【3】かじきは大きめの一口大に切り、塩、ホワイトペッパー、カレー粉をまぶします。
- 【4】フライパンにサラダ油を熱し、【3】を両面焼き、取り出します。
- 【5】あいたフライパンにサラダ油をたし、中火で【2】を炒め、玉ねぎが透き通ったら水を加えます。
- 【6】煮立ったら火を止め、ルウを割り入れてよく溶かします。
再び弱火でとろみがつくまで煮込みます。
- 【7】器に白飯を盛り、【1】、【3】のをせ、【6】のカレーをかけ、枝豆を添えます。

ゴールデンカレーをもっと楽しめる！ アレンジレシピのご紹介



10分でスピードごはん
シャキシャキサラダ野菜を楽しもう
「カレータコライス風」

香り高いゴールデンカレーと
アボカドがよく合います
「アボカドキーマカレー」



株主優待

株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社の事業内容をより一層ご理解いただけるよう、株主優待制度を実施しています。

毎年3月31日と9月30日現在の株主名簿に記載された1単元以上所有の株主の皆様に、自社製品の詰め合わせを贈呈しています。



2017年11月送付製品



2018年5月送付製品

株主メモ

各種手続きについて

○ 住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取方法・振込先の指定等

株主様の口座のある証券会社にお問い合わせください。なお、特別口座に株式を所有されている株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社にお問い合わせください。

○ 未払配当金の受取

証券会社の口座の有無にかかわらず、株主名簿管理人である日本証券代行株式会社にお問い合わせください。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
株主確定基準日	定時株主総会・期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	日本証券代行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店 〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部
(電話照会先)	☎0120-707-843
(ホームページアドレス)	https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html
同取次窓口	日本証券代行株式会社の支店および三井住友信託銀行株式会社の 本支店(「コンサルティングオフィス」「コンサルプラザ」を除く)
公告方法	電子公告により行います。(URL: https://www.sbfoods.co.jp/) なお、やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載します。

表紙のスパイスとハーブ

上段左から：バジル、カルダモン、ローズマリー、ブラックペッパー、イタリアンパセリ、サフラン
下段左から：唐辛子、セージ、クローブ、しそ、シナモン、スペアミント



植林木

この報告書は、森林資源を守る為に計画的な植林によって育てられた樹木を原料としたパルプを使用しています。